阪南市議会議員 上甲 誠 市政報告書 令和 5 年11月 第051号

さかそう通信

Sakaso

執筆・印刷
上甲 誠（じょうこうまこと）
無所属 （1973 年阪南市生まれ）
市政相談所：〒 599-0224 阪南市舞 4-30-2
電話 072-474-9211 メール mj@mac-joe.net
ブログ http://mac-joe.net/

「ともにさかそう 笑顔とお互いさまのまち 阪南 (2012~2021)」～「ONE ACTION ～時代の 1 歩先をゆくまち～ (2022~2033)」
市民一人ひとりが 1 歩踏み出すことで、未来が形づくられ、やがて太い幹となるまち。地域経営の主体は地域に住む市民であり、その地域の市民、企業・団体、行政それぞれが、「わがごと」として、「オープン」に「双方向」で課題に取り組むことが重要です。
『共創による新しい地域価値が創造され、誰もが輝ける舞台都市・阪南 』 ～「さかそう通信」お届けします。

こんにちは。市議会議員の上甲です。

市政報告書「さかそう通信」第51号をお届けいたします。今回は9月議会で審議いたしました令和4年度決算をメインにまとめます。後半は阪南市の子育て拠点整備のその後について進展がありましたのでお伝えいたします。

令和4年度決算について

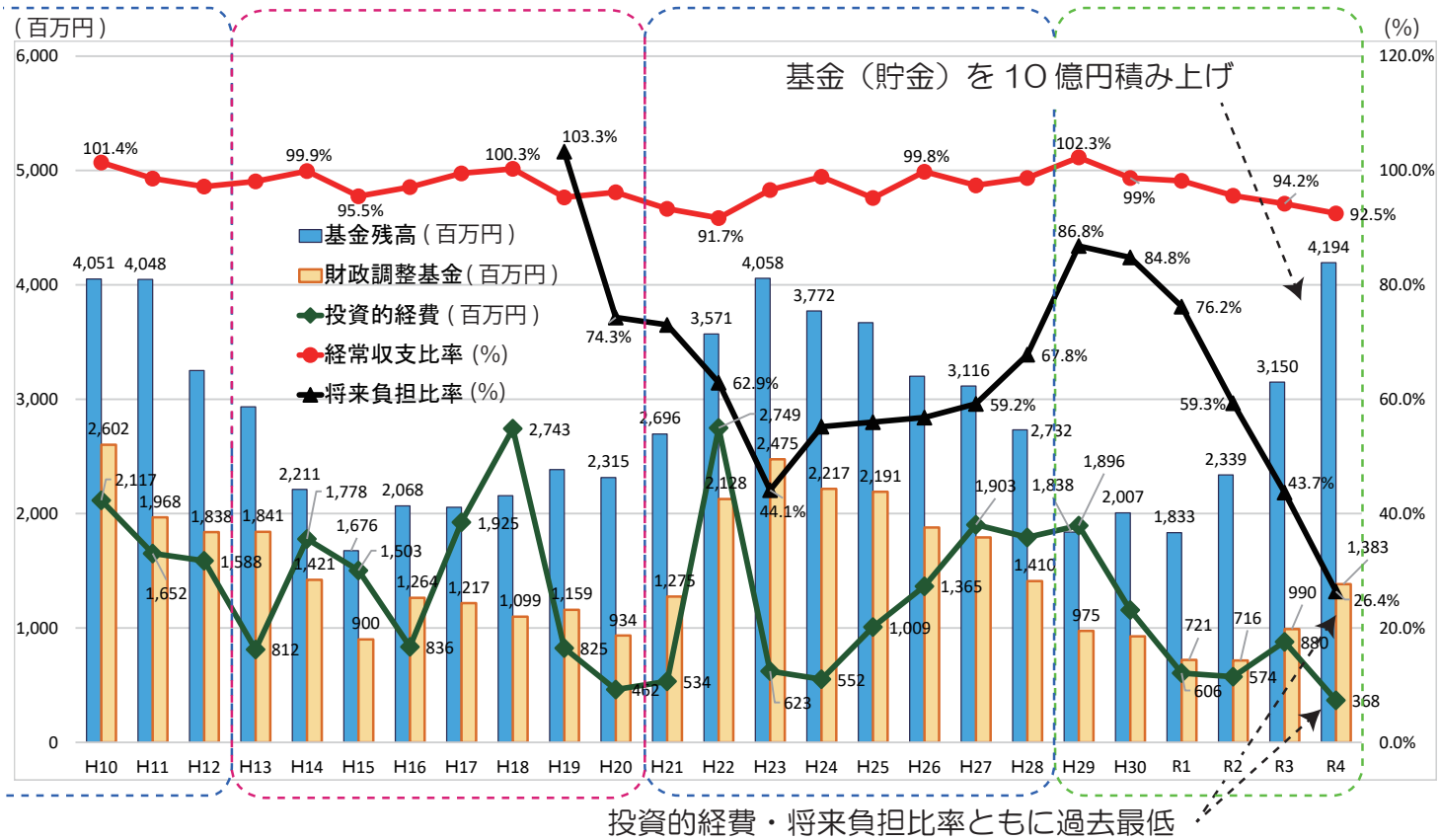
皆様もご存じのように阪南市は現在「財政非常事態宣言」を発出しており、様々な市民サービスに影響が出ております。

市では「行財政構造改革プラン改訂版」を作成し改革の真っただ中です。そんな中、令和4年度決算は「大きな黒字」となりました。下記にここ数年の代表的な数字をグラフにまとめています。令和4年度は、

・基金全体で10億円、現金ベースでも2.5億円の黒字で、合わせて12億円強の黒字

・将来負担比率が過去最低であり、投資的経費も過去最低

これらの結果、財政非常事態宣言の解除条件（3年連続必要）の1年目はクリアしました。しかし、今しなければならないインフラ整備などを先送りすることによって黒字になっている部分もあるので、ブレーキとアクセルのバランスが重要であると考えます。



阪南市年表	H14 財政再建	H18 第二次財政再建	H19 MIZUTAMA館	H22 小中学校耐震	H23 鳥取中学校	H25 市民病院	H26 地域交流館	H27 阪南まもる館	H30 行革プラン	R2 財政非常事態	R3 行革プラン改訂版

上甲誠ブログ
人こそ街なり

ほぼ毎日更新中！

http://mac-joe.net/

阪南市のお得情報、イベント、
こんなこと知りたかった、満載！！

上甲誠市政報告座談会
さかそう会
【毎月】３回開催しています。

10月21日（土）10時
あたごプラザ「もも」

10月28日（土）10時
桃の木台西住民センター

11月4日（土）10時
箱作西住民センター

市政相談・お問い合わせ
お気軽に
上甲誠市政相談所

大阪府阪南市舞 4-30-2
電話 072-474-9211
メール mj@mac-joe.net

もう少しだけ
令和４年度決算について

令和４年度決算についてもう少し触れておきます。なぜこれほどの黒字になったか。

・財政非常事態宣言下の緊縮財政
・インフラ整備等の投資を控えているため
・コロナウイルス感染対策の影響
・個人からの寄付金をいただいたため
・ふるさと納税目標額５億円は達成しなかったものの、それでも3.5億円という結果が得られたため

これらが大きな原因です。これらの中では今後継続しないもの、不明なものが含まれておりますので、それに対する対策と、もう一つ一番大切なことは、「税収を増やす対策を積極的に進めること」です。

市民サービスを抑え、新たな事業を行わず、未利用公有地の積極的な利活用・処分を行わないことで
「支出を抑える」
ばかりではなく、
新たな事業を選択と集中をもって積極的に行うことで市の魅力を磨き、企業誘致によって雇用を生むことや、子育て環境の整備を行い、人口を増やすことで、
「収入を増やす」
ことが必要です。
頑張りましょう！

《検証》子育て拠点整備
これまでの議論は何だったのか？

９月議会中に子育て拠点整備特別委員会が開催され、市の方向性が変更されましたので、お伝えいたします。

詳しくはこちらのブログに書いております。

これまで阪南市は総合こども館に端を発し、子育て拠点整備に相当の時間を費やし、議論を重ねてまいりました。

平成28年　総合こども館　白紙
同28年　こども未来PT発足
同29年　こども未来PTより答申
同30年　子ども・子育て会議に諮問
同31年　同会議から答申
令和元年　子育て拠点再構築方針
◆第１ステージ→尾崎幼保統合民営化・朝日&はあとり統合
◇第２ステージ→石田&下荘を旧下荘小か旧天神池で公立認定こども園
同２年　第２期子ども子育て支援計画
同４年　再構築◆第１ステージ完遂
同５年　再構築◇第２ステージ開始
同５年６月　議会で第２ステージは見直さないと市長。
同５年９月　第２ステージの用地は白紙に。民営化も含めて検討。

ここにきて突然「第２ステージの用地を見直し、下荘地区で子育て事業を開設したい民間事業者がでてきたので、民間の認定こども園も含めて検討する」とのこと。

安易な方針転換であり、計画から５年のプロセスを経た上での「子育て拠点構築方針」が無視されています。拙速な進め方では「総合こども館の失敗」の二の舞になる危険性もあります。私は用地変更、民営化について頭からの否定をするわけではありませんが、方針転換にはそれまで以上の丁寧な検討と説明が必要で、安易な進行とならぬよう注意が必要です。

最後までお付き合いいただきましてありがとうございました。
これからも一生懸命頑張ります。
ブログ・後援会も含めて、今後ともよろしくお願いします。

阪南市議会議員　上甲　誠